まえがき …… iii

第1章　資本主義の新段階としての情報資本主義 …… 1

1.1　資本主義の発展段階規定 …… 1
1.2　情報資本主義と知識資本主義の位相 …… 3
1.3　IT 革命は資本主義を超える経済システムを招来させるのか …… 4
1.3.1　知識経済≠資本主義論が提起している論点 …… 4
1.3.2　情報経済＝機械制大工業の高次段階論が提起している論点 …… 6
1.4　情報資本主義と成長モデル …… 7
1.5　マルクスの生産様式論と情報資本主義段階 …… 11
1.5.1　マルクスの生産様式論の有効性 …… 12
1.5.2　資本主義的単純協業と全体労働者 …… 14
1.5.3　マニュファクチュア（分業に基づく協業）と部分労働者 …… 16
1.5.4　機械制大工業と単純労働者（主要労働者） …… 19
1.5.5　情報資本主義段階と知識労働者 …… 24

第2章　情報資本主義段階の生産関係と生産様式 …… 30

2.1　問題の所在 …… 30
2.2　情報資本主義成立の3要因 …… 31
2.2.1　情報資本主義成立の画期としての IT 革命 …… 31
2.2.2　ダウン・サイジングとグローバル生産ネットワークの形成 …… 33
2.2.3　インターネットの開放と情報の一極集中 …… 40
2.2.4　グローバル物流情報インフラの形成　― 無線 IC タグとユビキタス …… 42
2.3　日本は情報資本主義に適応できているか …… 43
2.3.1　日本の情報通信基盤は世界最高水準か …… 43
2.3.2　「知識労働者」とは何か …… 44
2.3.3　「知識労働者」の実質的包摂の重層性 …… 49

第3章　IT 投資と労働生産性の低迷 …… 59

3.1　日米情報化投資格差について …… 59

3.2　ソロー・モデルと「相対的剰余価値の生産」の関連と相違 …… 63
3.3　情報化投資の労働生産性（GDP/L）向上効果 …… 65
3.3.1　全要素生産性（TFP）の鈍化 …… 65
3.3.2　情報化投資の労働生産性向上効果 …… 68
3.3.3　「生産性パラドックス」は本当に解決したのか？ …… 72
3.3.4　情報化投資の寄与度はなぜ低下したのか …… 75
3.3.5　ユビキタス効果による潜在的成長力の示唆 …… 79

第4章　IT 投資促進を可能にする資金はどこに消えたのか …… 84

4.1　IT 投資の資金をどこから捻出するのか …… 84
4.2　設備投資抑制と金融資産の構造変化 …… 88
4.2.1　「三つの過剰」の解消によるバランスシート調整 …… 88
4.2.2　「過剰債務」の返済資金の捻出 …… 91
4.2.3　実物資産の金融資本化 …… 94
4.2.4　金融資産の行方 …… 98
4.3　IT 投資の促進と構造改革路線の矛盾 …… 105

第5章　労働分配率の低下と貧困化 …… 107

5.1　労働生産性と労働分配率の関係 …… 107
5.2　労働分配率の低下と賃金格差 …… 108
5.2.1　日本の労働生産性連動型実質賃金率 …… 108
5.2.2　労働分配率の変化と雇用形態の多様化、雇用の柔軟化 …… 110
5.3　総賃金抑制の下での勤労者世帯の貧困化 …… 113
5.3.1　「見せかけの格差」論の狙い …… 113
5.3.2　ジニ係数と要因分解 …… 116
5.3.3　所得階級別世帯分布の形状変化 …… 120
5.4　「見せかけの格差」論は90年代後半以降も有効か？ …… 125
5.5　所得格差拡大の様相　―総貧困化― …… 129

第6章　雇用形態の多様化と産業予備軍の再構築 …… 133

6.1　IT 化は雇用形態を多様化させるのか …… 133
6.1.1　IT 投資と非正規雇用増加との関連 …… 133
6.1.2　ME 化を契機とした雇用形態の多様化 …… 140
6.2　量産体制の行き詰まりと産業予備軍の再構築 …… 143
6.2.1　多品種量産体制の終着点としての雇用ポートフォリオ戦略 …… 143

6.2.2　労働ビックバンの経緯と性格 …… 144
6.2.3　貧困化の構図　―派遣労働者と産業予備軍の形成― …… 151
6.3　知識集約的部門に労働力はシフトしたのか …… 156
6.3.1　雇用戦略の転換は「知識労働者」を生みだすのか …… 156
6.3.2　ホワイトカラーと技術労働者の就業状態 …… 159

第7章　人口減少時代の情報化戦略 …… 165

7.1　人口減少社会の到来 …… 165
7.1.1　労働力人口の減少と「正社員／専業主婦モデル」 …… 165
7.1.2　すでに起きた労働力人口の減少 …… 170
7.2　人口減少対策の構図 …… 174
7.2.1　経済成長の維持、人口減少を前提とした「ワーク・ライフ・バランス」 …… 174
7.2.2　少子化対策 …… 176
7.2.3　追加労働力人口の確保による労働力率の維持 …… 179
7.2.4　「ワーク・ライフ・バランス」論の変質 …… 181
7.3　IT 化と人口減少対策の同時追求のために …… 186
7.3.1　IT 化と雇用形態の多様化は、人口減少の対策となったか？ …… 186
7.3.2　ワーク・ライフ・バランスと知識労働者形成の同次元性 …… 188

あとがき …… 191
[注] …… 194